

受験番号:35IPM014

[0003]

プロペラは亜音速の対気速度で使用される場合があり、ブレードの速度が音速に近づく高速では、抗力、騒音、およびプロペラの構造上の問題が生じる可能性がある。通常の動作速度であっても、故障を防ぐためにプロペラのバランスと完全性を維持しなければならない。また、典型的な動作条件下では、プロペラは機械的応力を受け、プロペラに亀裂、疲労などを引き起こす可能性があり、プロペラの壊滅的な故障につながる可能性がある。プロペラの故障を防ぐのを助けるために、積極的な試験と再処理を使用することができる。

[0004]

航空機整備の一環として、すぐに故障し得る部品、あるいは整備の準備ができていると見なされる、十分な使用量が蓄積されている部品を検出するために、様々な航空機部品およびシステムに対して試験と再処理が実行され得る。しかしながら、そのような試験の取り組みは、航空機の信頼性を向上させる傾向があるが、航空機の全体的な整備費を増加させる傾向があり、また、試験中の部品を予備部品の在庫から取り出したものと交換する必要があるため、部品の在庫を増加させる傾向がある。

[0005]

整備の時間、および実行される操作も、航空機の整備費を増加させる傾向がある。任意の時点で、一定の割合の部品が、整備と試験の対象となる操作から除外されたり、切り替えられたりする可能性がある。部品は、再び就航での使用に適していると思なされる前に、試験の結果として、または一般的な慣行として、再処理または改修しなければならない場合がある。そのような試験と再処理の手順により、部品が使用できなくなって、整備費がさらに増加する傾向がある。全体的な整備費を改善するために、迅速で、向上した精度と低費用で部品を試験するのが可能にすることが望まれ得る。したがって、プロペラのような航空機部品を試験及び整備する、改善されたシステムおよび方法を提供し続けることが望ましい。

(15) リム68、およびリム76とそれに含まれる壁部76によって囲まれている領域は、それらによって整列され支持される反応容器の近位端と共に、高速冷却炉の端部の各々に、分配プレナムと排気プレナムをそれぞれ画定する。強化フランジ80の自由端で終端するニップル78は、環状リム72に溶接されるかまたは他の方法で固定される。分配プレナムにおいて、入力空気は、適切なカップリングを介して分配マニホールドの対応するニップルを通してその中へつながれる。排気プレナムは、排気マニホールドのニップルに連結された、環境への導管開口部を介して周囲につながれる。本発明の概念から逸脱すること

なく、負圧源のような、分配プレナムから排気プレナムに空気を移動させるための任意の他の適切な手段を使用することができる。

【請求項 1】

燃料輸送タンク（1）であって、少なくとも第1の容器（2）および少なくとも第2の容器（3）を含み、前記第1の容器（2）には少なくともシート（20）が設けられ、そこでは前記第2の容器（3）が取り外し可能に挿入され、前記第1の容器（2）は、輸送中に該容器を載せることができる下部ベース側（21）、および該容器の反対側の上部側（22）を含み、前記第2の容器（3）のための前記シート（20）が形成されており、

前記シート（20）は、前記上部側（22）から前記第1の容器（2）の内側に向かって延在する空洞によって画定されて、前記第2の容器（3）を上から挿入および抜き出し可能とし、

前記タンク（1）は、前記第1の容器（2）に蝶番で取り付けられた蓋（4）を備え、蓋は閉じられると、前記シート（20）と前記第2の容器（3）とを覆い、前記第1の容器と前記第2の容器がタンクを構成する、燃料輸送タンク（1）であって、

前記第2の容器（3）および前記シート（20）は、雄／雌カップリングを画定するために、実質的に同様の形状を有し、前記第2の容器（3）を、抜き出しおよび挿入の方向に単一の自由度の移動で前記シート（20）に挿入するのを可能にし、および

前記第1および前記第2の容器（2、3）が、それぞれ単一の本体部品で作られることを特徴とする、燃料輸送タンク（1）。